

活動実績報告書

平成26年4月15日

登録番号 20130521

氏名 泉田利明

1. 活動状況

平成23年11月～平成25年10月

① 活動の概要

1. 平成23年度に准フォレスター研修を受講後、栃木県主催による各市町を対象とした市町村森林整備計画作成のための検討会(4回実施)に国有林職員の准フォレスターとして参加。
2. 栃木県と栃木県森林組合連合会の主催による、栃木県内森林組合を対象とした森林経営計画研修会に参加。
3. 栃木県からの要請により、平成24・25年度に計3回、森林施業プランナー育成基礎研修で「国有林での集約化施業の取組」と題した講義を実施。
4. 平成24年度に栃木県主催による森林経営計画作成推進プロジェクトチームを設置し、日光市内の森林を対象とした目標モデルとなる森林経営計画を作成。
5. 平成24年の森林法改正により、公益的機能維持増進協定制度が創設されたことから当該協定に向けた取組を実施。

② 「公益的機能維持増進協定」活動を挙げた理由

市町が作成する市町村森林整備計画に関しては、県フォレスターの指導・助言を受け計画を作成している現状です。

このような状況で、新たに国有林職員がフォレスターとなっても、市町村森林整備計画書で特段の指導・助言を受けなければ作成できない項目はないことから市町からの要請はなく、森林経営計画においても地域の民有林林業に関しては従来から関わりを持たない国有林職員のフォレスターに対して、作成に関する問い合わせや指導等の依頼はありません。

フォレスターとして地元の林業に関わっていくために、県職員フォレスターから定期的に諸活動の情報を収集しながら検討会等に参加している状況です。

このようなことから、フォレスターの業務である民国連携として当署で進めている公

益的機能維持増進協定締結に向けた取組について取り上げました。

③ 当該活動における、あなたの立場と役割

当署の森林技術指導官として、さらには准フォレスターとして、地域での民国連携や地域林業活性のために、県や市、地元林業事業体さらには製材工場等に対して情報提供、情報収集の実施や共同施業団地の候補地の選定等も行ってきました。また、公益的機能維持増進協定締結に向けた取組も指導していく立場にあります。

この取組は平成 24 年度に制定された新しい制度であり、この制度を有効に活用して豊かな森林とするために、栃木県や管内市町担当者、森林組合等に情報提供を行うこと。さらに、候補地の選定、協定締結に向けた森林所有者との交渉、境界測量、収穫調査、私有林分の事業費の算出などを行うと共に、国有林分の諸調査は当署担当職員が実施することを促す役割となっています。

④ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

公益的機能維持増進協定の制度について森林所有者に情報提供ができれば、普段から「国有林側でいつ間伐するのか」の問い合わせや、「国有林側の事業と併せて実施してほしい」等の要望があると思います。この制度を如何に地元森林所有者又は不在者森林所有者に周知し、荒廃した小面積森林を豊かな森林とするかが課題です。

本業務が実施されることにより、森林所有者から「間伐などの施業を行い森林が整備され、さらに収入も確保され良かった。」などの情報が地域に発信・周知されると、今まで間伐などの森林整備をあきらめていた小規模森林所有者は本業務に関心を持ち協定締結が推進されるとともに、公益的機能維持増進協定事業本来の目的である、荒廃した森林が豊かな森林によみがえることと期待します。

⑤活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

実施の段階では、一つの介在地内に複数の所有者が存在している場合があり、所有者間の境界がはっきりせず境界確定までに長時間を要するとにより、国有林側の間伐実施時期に間に合わずに候補地から除かなければならないことが想定される課題がありますが、このような場合に私有林に精通している県や森林組合において私有林部分の希望・境界調査・収穫調査などの諸調査の実施が可能であれば民・国が連携してのスムーズな運営となると思います。